

『膵癌リンパ節転移の病理組織学的形態と予後についての検討』に関するお知らせ とお願い

1. 研究の対象

2007年1月～2017年12月に当院で膵がんの手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

近年膵癌リンパ節転移について、転移陽性リンパ節数あるいは転移陽性リンパ節/郭清リンパ節総数割合(LNR)等が予後規定因子として報告されている。一方、乳癌ではリンパ節転移の評価に最大径や細胞数が加味され、大腸癌では、腫瘍に完全に置換されたリンパ節に似た構造として腫瘍デポジットが定義されており、より細かいステージング、それに応じた治療が行われている。膵癌では領域リンパ節の転移個数によるステージングのみで、リンパ節転移の大きさや形態による分類は無く、報告も少ない。他癌と同様に、膵癌においてもリンパ節転移の大きさや転移形態による分類が予後規定因子となる可能性があり、1.に記載された期間、対象患者さんの保存された病理標本において、リンパ節転移の大きさや形態を詳しく検討し、その特徴や予後との関連を検討する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、カルテ番号、年齢、性別、病理検体番号 等

試料：病理標本から作成されたプレパラート 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒359-8513 埼玉県所沢市並木3-2
防衛医科大学校病院 外科3 星川真有美
TEL：04-2995-1511（内線 2356）

研究責任者：

〒359-8513 埼玉県所沢市並木3-2
防衛医科大学校病院 外科3 山本順司
TEL：04-2995-1511（内線 2356）